囯叉 7 消費者相談

の件数は18年度=1 件だった。過去5年 年度比で12件増の96 けた相談件数は、前 24年1月)に受け付 3年度(23年2月~ がこのほどまとめ 事務局・名古屋市東 事業団(以下健取団 区、赤堀真二理事長 た、健取団の「消費 [相談室] で202 健康関連取引適正 盟企業)に関わる相 件超が寄せられた。 的な問い合わせ、電 集計していない一方 どをあげた。件数に 的な問題性が窺えな する相談が、昨年度 やした。増加要因に 話切れなどは100 い問い合わせに相当 ついて事務局は、法 より多かったことな 健取団の会員(加 費生活センター、警 費者行政担当課、消 件、 察)」からが1件だ

|消費者| が9件の た。 「関係機関」 前年度比は

が変わらず。 都道府県別の受付

77件、21年度=1 57件、20年度11

3年ぶりに増

件の増加。内訳は

めた。前年度比は7

全体の95%を占

46件、19年度=1

談は91件を受け付

の6件(うち1件は 前年度比で4件増

件数は13件の大阪府

題性が疑われる相談

ケースは多くない。 カ月以内に消費する

と無条件解約の余地

に、法定書面の精査

をアドバイスした。

を指摘するととも から過量販売の疑い

は、当該会員へ改善 会員に関連する問

年度より増えたとい が窺えない相談が前 が3件増の4件。 同数の6件、奈良県

る質問などの問題性 は宮城県が前年度と

今回は賞味期限に対

との内容で、事務局

い。これだけ必要かり

た。

布団は2セット

"85歳の高齢者が訪

して量が多かった」 「6カ月分の量を6

いと考えられるが、

て賞味期限短い

健食の販売、指導

していないものの、 自主行動基準には反 購入量に比較して賞 品を販売していたケ 味期限が短い健康食 スについて、

ば、会員の送付した 度に続いて最多でい がトップ。 した。事務局によれ 前年度より5件増や 20 21 年

「関係機関

(消

わせや、商品に関す DMに関する問い合 務局)とした。他に られた和歌山県は、 のではないか」(事 非会員関連) 市場競合が関係した 「関西の会員による

件数が上位だった県

が寄せ た、法令や健取団の の不実告知など。ま 業トーク、健康食品 関連法規に反する営 法、健康増進法等の になったのは薬機 指導を行った。 対象

は控えるよう指導し

の二倍以上の賞味期

当該会員は、賞味期 2カ月分程度だった 準で定める販売可能 安価な価格で6カ月 康食品を、通常より 限が9カ月程度の健 なら大きな問題はな 康食品1品あたり)。 最大量は6カ月、健 分販売(自主行動基 販売した量が1~ 団乾燥剤を購入し 問販売事業者から布 込まれた相談は、 談は5件を受け付 限が求められるべ しか所有していな 減。このうち、神奈 き」(事務局)とした。

川県の行政より持ち

け、前年度比は2件

非会員に関わる相

業界紙:訪販ニュース社

2024年3月21日号の記事紹介

健取団「2023年度」消費者相談室 $(2023. 02\sim2024. 01)$

健康関連取引適正事業団

務 局